

報道関係者 各位

令和3年9月27日

【照会先】

独立行政法人福祉医療機構

経理部長 前田 省三

経理部資金課長 五十嵐 隆司

(電 話)03-3438-0212

(F A X)03-3438-0219

ソーシャルボンドに関する第三者評価を取得しました ～福祉医療機構初となるソーシャルボンドを12月に発行します～

独立行政法人福祉医療機構（以下「当機構」という。）は、本日、株式会社格付投資情報センター（R&I、東京都千代田区）から、ソーシャルボンドに関する第三者評価を取得しました。ソーシャルボンドとは、社会的課題を解決することを目的として発行される債券です。当機構では12月に初のソーシャルボンドを発行する予定です。

また、ソーシャルボンドの発行にあたり、ICMA（国際資本市場協会：International Capital Market Association）が定めるソーシャルボンド原則の4つの核となる要素（「(1)調達資金の使途」、「(2)プロジェクトの評価と選定のプロセス」、「(3)調達資金の管理」、「(4)レポートイング」）に基づき、ソーシャルボンド・フレームワークを策定しました。

当機構は、これまでも調達した資金を活用し、急速な少子・高齢化の進展による社会構造変化への対応や高齢者、児童、障害者の福祉の増進、医療を必要とする国民への適切なサービス提供など、国民一人ひとりが安心して暮らすことができる社会を築くための福祉医療の基盤づくりを支援してまいりました。

今後とも、より多くの方々に当機構の取り組みについて理解を深めていただくとともに、調達した資金を活用し、引き続き我が国が抱える社会的課題の解決に努めてまいります。

当機構のソーシャルボンド・フレームワークの概要についてはこちら（PDF）

https://www.wam.go.jp/hp/wp-content/uploads/wam_framework.pdf

R&I ソーシャルボンドに関する第三者評価（外部リンク）

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/socialfinance/index.html>